

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2008年22週(5月4週5/26~6/1)

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

百日咳

手足口病

病原体検出情報

定点医療機関コメント

溶連菌感染症、感染性胃腸炎、水痘、マイコプラズマ、インフルエンザA型等

全数把握感染症発生状況

()内は件数。結核(22)、腸管出血性大腸菌感染症(6)、アメーバ赤痢(1)、ウイルス性肝炎(1)、急性脳炎(1)、後天性免疫不全症候群(2)、梅毒(1)、麻しん(5)

名古屋市感染症情報 (5月後半)

WHO疫学週報抄訳

2008年5月23日(83巻21号)

新生児破傷風;インドにおける排除

(83巻19号・20号は24週報に掲載予定)

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

水痘 前週比1.1倍(317人 355人)

咽頭結膜熱 前週比1.0倍(112人 114人)

ヘルパンギーナ 前週比1.6倍(31人 51人)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

トピックス

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

愛知県は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する注意情報を発表しました(5月29日)

定点あたり患者報告数は過去5年の同時期では最も多く3.59人、前週比1.0倍(641人 653人)です。警報レベル(4.0人以上)の保健所は瀬戸、春日井、江南、岡崎市、衣浦東部及び豊田市です。

【参考ページ】 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が流行しています(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000015803.html>

百日咳(図1)

愛知県は、百日咳に関する注意情報を発表しました(6月5日)

全国の1~22週累計報告数は2,846人、定点あたり0.94人です。愛知県の定点あたり患者報告数は過去5年の同時期で最も多く0.14人、前週比1.2倍(21人 25人)です。1~22週の累積患者報告数185人のうち20歳以上は73人と40%を占めています。

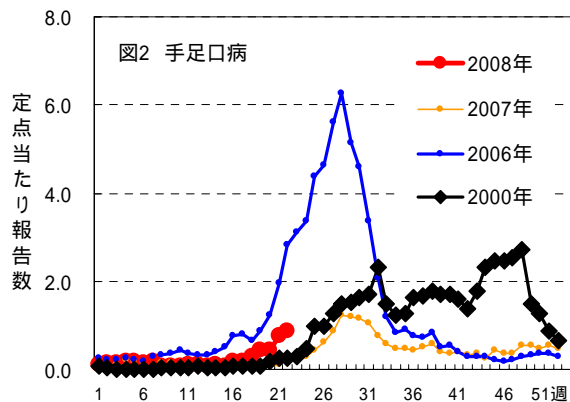
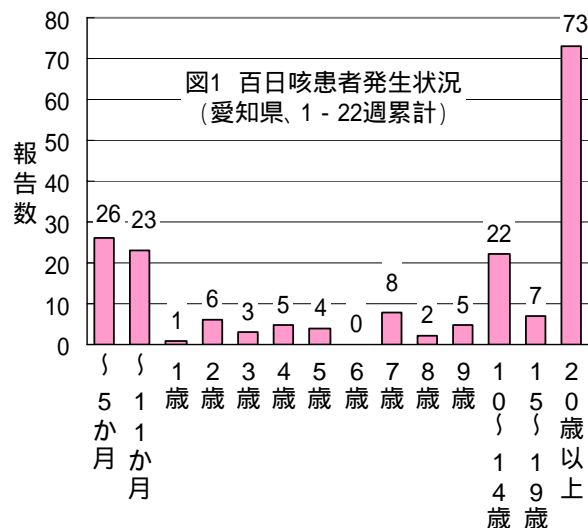
手足口病(図2)

定点あたり患者報告数は0.88人、前週比1.2倍(137人 161人)です。例年の流行は6月下旬~7月上旬に見られます。詳しくは参考ページをご覧ください。

【参考ページ】

「中国南部で手足口病死亡例が発生」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2008.html>



インフルエンザは 2007 / 2008 シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ
患者数	137	9	9	4	1	7	4	183
CV-A2	-	-	4	-	-	-	-	-
CV-A16	-	3	-	-	-	-	-	-
E-6	1	-	-	-	-	-	-	-
E-30	1	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1	-	-	-	-	-	-	-	95
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	20
FluB	-	-	-	-	-	-	-	6
RotaA-G1	3	-	-	-	-	-	-	-
RotaA-G3	6	-	-	-	-	-	-	-
RotaA-G9	12	-	-	-	-	-	-	-
NV G	6	-	-	-	-	-	-	-
NV G	17	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	1	-	1	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-
検査中	39	4	3	2	-	4	2	5
陰性	50	1	2	1	1	3	2	57

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス

FluAH1 : A 型連型インフルエンザウイルス

NV : ノロウイルス

CV : コクサッキーウイルス(Cox.)

FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス

RotaA : A 群ロタウイルス

E : エコーウイルス

FluB : B 型インフルエンザウイルス

「平成 19 年 疾患別ウイルス検出情報」は以下のページをご覧ください

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

定点医療機関コメント (名古屋市除く)

尾張西部地区

10 か月女 水痘とアデノウイルス感染の合併あり。

アデノ陽性 1 例、結膜所見はないものがほとんど。

成人女性でカンピロバクター腸炎が 2 例ありました。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

マイコプラズマ感染症 11 名

【一宮市 城後小児科】

27 歳女 咽頭結膜炎の患者 1 名来院しております。

【一宮市 ふなはし眼科】

インフルエンザ A 型 1 名

【稲沢市 稲沢市民病院】

感染性胃腸炎やや目立ちますが軽症例が多いです。

カンピロバクター腸炎 2 名(兄弟例です)。

溶連菌感染症減少。

手足口病 3 名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

水痘、溶連菌多い。

インフル A 型 5 例(いずれも同じ幼稚園及び家族です)。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

68 歳女ムンプス I g M 陽性でした。

1 歳男エルシニア感染症がありました。

【犬山市 武内医院】

アデノウイルス散発中。

溶連菌感染が再び増えて参りました。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

乳児から成人まで溶連菌感染症が多くみられます。

ロタウイルス感染を含む感染性胃腸炎がみられます。

病原大腸菌(O153)5歳男、病原大腸菌(O25)5歳男。

A型インフルエンザ1名(10歳男)

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

溶連菌感染症流行続いています。(丹毒での入院例もあり。)

手足口病、ヘルパンギーナもみられています。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

水痘続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

感染性胃腸炎多数

水痘増加

手足口病少々

溶連菌感染症少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

胃腸炎は数が少しずつ減ってきているようですが、手足口病、水痘が近辺の園で見られるようです。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

岩倉市の幼稚園、小牧市の小中学校とインフルエンザ小流行。

【小牧市 小牧市民病院】

嘔吐、下痢症が多く見られますが、ロタウイルスは陰性です。

インフルエンザは9例すべてA型です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型2人。

相変わらず溶連菌が多い様です。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

19歳男 百日咳流行株160倍

【半田市 医療法人林医院】

アデノウイルスによる腸炎数例あり

【美浜町 厚生連知多厚生病院】

アデノウイルス感染症 3名(うち1名が咽頭結膜熱)

RSウイルス感染症 3名(うち2名は兄妹です)

水痘が目立ちます。

病原大腸菌O74 1名(9歳女)

病原大腸菌O18 1名(2歳男)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

胃腸炎、溶連菌感染症が比較的多いです。手足口病も出ています。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 12名

咽頭ぬぐい液培養にて溶連菌 1名

キャピリアアデノ 3歳女

アデノ腸炎 2歳女

E.coli(O86a)+ (O18) 9歳女

カンピロバクター腸炎 2歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

4歳女 病原性大腸菌O86(+),サルモネラO7群

5歳男 サルモネラO4群

【岡崎市 花田こどもクリニック】

6歳男 カンピロバクター感染症

溶連菌・アデノウイルス感染症散見されます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ(+) 3歳男、2歳男、5歳女

10歳女 カンピロバクター、病原性大腸菌O1(+),VT(-)

1歳女 病原性大腸菌O125(+),VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

3歳女 病原大腸菌O25、病原大腸菌O1

30歳男 病原大腸菌O8

22歳女 病原大腸菌O8

8歳女 病原大腸菌O111

8か月男 病原大腸菌O6

7歳女 病原大腸菌O1、O74

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

溶連菌感染症が目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】

マイコ気管支炎 6歳

【刈谷市 田和小児科医院】

溶連菌感染症8名

【知立市 宮谷クリニック】

溶連菌感染症が多めです。

【三好町 三好町民病院】

0歳 病原大腸菌 O74(+),VT(-)

手足口病が少し増えてきました。

【西尾市 山岸クリニック】

アデノウイルス感染症 3歳女、2歳女、2歳女、1歳男、3歳男

カンピロバクター 4歳男

病原大腸菌 5歳男、3歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ロタウイルス性腸炎 1名

【豊橋市 マミーローズクリニック】

百日咳の患者さんが散発しています。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

2歳女、4歳男 アデノ扁桃炎

【豊橋市 医療法人野村小児科】

E.coli O128 1歳男

E.coli O86a 4歳男

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）6月4日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun071228.pdf>)

結核（二類感染症）

報告保健所	22週報告数			2008年累計(1～22週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9	1	1	336	109	25
豊田市	1		1	30	8	7
豊橋市	1	1		32	15	6
岡崎市	2	1	1	32	19	5
一宮	1	1		34	12	
瀬戸				56	22	7
半田				15	4	2
春日井	2	1		39	13	
豊川				15	7	2
津島	3	1		37	8	2
西尾				21	11	1
江南	2			30	10	1
新城				6	1	1
知多				51	11	16
師勝				18	5	2
衣浦東部	1			40	8	11
合計	22	6	3	792	263	88

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	5歳	女	5/25	5/26	5/29	O157、VT2(+)
2	名古屋市	25歳	男	5/26	5/29	5/29	O157、VT1(+)VT2(+)
3	岡崎市	6歳	女	5/19	5/19	5/27	O103、VT1(+)
4	岡崎市	30歳	男	-/-	5/23	5/26	O26、VT1(+)VT2(+) 無症状病原体保有者
5	岡崎市	2歳	男	-/-	5/26	5/28	O26、VT1(+)VT2(+)
6	瀬戸	3歳	女	5/24	5/25	5/29	O26、VT1(+)VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握） （推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	男	腸管外アメーバ症	不明	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	57歳	男	B型	性的接触	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病原体	推定感染地域
1	半田	1歳	女	不明（検査中）	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	50歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊橋市	36歳	女	無症候	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	23歳	女	不明	国内
2	豊橋市	1歳3か月	女	無	国内
3	半田	1歳	女	有	国内
4	豊川	15歳	男	有	国内
5	衣浦東部	1歳0か月	男	無	国内

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

いつもの通勤路で緑一色だった生垣に梅雨空の下、紫陽花(あじさい)の花が目を引きようになりました。現今のガーデニング流行でカラフルなプランターボックスの花が目立つ中で梅雨空にふさわしい季節の花です(最近では品種改良で滅茶苦茶派手なものも登場していますが)。いつも貴重な情報を有難うございます。5月後半のまとめをお送りします。

第二日赤岩佐先生からはヘルパンギーナが今年初めて外来に受診、手足口病の入院例あり、三菱病院入山先生からはA群溶連菌咽頭炎2名(入院1名)、感染性胃腸炎4名(病原性大腸菌O58、O25、O1、黄色ブドウ菌各1名、入院2名)、咽頭アデノウイルス感染症2名(1名入院)、ムンプスと水痘各1名、マイコを含む気管支炎～肺炎の入院5名、と特に目立った傾向なし、中京病院柴田先生からは外来では溶連菌感染症、水痘、胃腸炎が少しずつあり、病棟ではウイルス性胃腸炎とアデノウイルス感染症による入院があり、百日咳の乳児例(生後2ヶ月)が1例入院とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

2008年5月23日(83巻21号) <http://www.who.int/wer/2008/wer8321/en/index.html>

筆者からのお詫び：当方の手違いから19号、20号を次回回しとさせていただき、今回は21号だけ抄訳をお送りします。ご了承をよろしくお願いします。

新生児破傷風(NT)。インド。

2007年、チャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキム各州における排除(elimination)確認。インドではこれまで既にアンドラプラデシュ、ハリアナ、カルナタカ、ケララ、マハラシュトラ、タミールナドゥ、西ベンガル各州でNT排除が確認されており、これらの州では1,000出生当りNT患者数1未満というWHOのNT排除確認条件が満たされている。07年11月、上記以外のチャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキム各州でNT排除達成評価のため地域ベースのサーベイがインド政府保健福祉省予防接種部門によりユニセフ、WHOなどの国際機関(多数。機関名略)と共同で実施された。このサーベイは07年1月のデータのレビューによって実施され、同時にNTが排除されていると思われるラクシュドウィープ、ポンディチェリ各連合地区についても実施された。

(1)背景：現在、インドにおいては予防接種拡大計画(EPI)により、全ての妊婦に破傷風トキソイド接種2回(TT2)実施(3年未満の再度の妊娠であれば追加接種1回：TT-B)、予防接種と平行して訓練・教育された医療スタッフによる医療センターでの清潔な分娩がNT対策として進められている。インドにおけるNT報告数は1990年の9,313例が06年で600例となっているが実際にはもっと多いと思われる。05年以降、インド政府は保健センターの医療スタッフ、助産スタッフの訓練や施設整備を母性保護計画としてスタートしている。

- (2) データレビュー：NT が排除されているかを評価するためにデリー、ゴア、グジャラート、オリッサ、など 10 州とチャンデーガル、ラクシャドウィープ、ポンディチェリなど 6 地区（州や地区の名前の羅列。略）について専門家チームによるデータレビュー実施。レビュー内容は a) 03 - 06 年の NT 報告数、b) DTP3 の接種率、c) 麻疹ワクチン接種率、d) 妊婦の TT2、TT-B 接種率、e) 保健施設における分娩率、f) 訓練された助産婦による分娩率、g) 出産前に 3 回以上妊婦が訪問指導を受けている率で 02 - 04 年の戸別サーベイに基づいている。ラクシャドウィープ（L）地区とポンディチェリ（P）地区に関してはレビュー担当者は予防接種に関するデータと安全な分娩実施状況は良好で NT は排除されていると結論づけている。P 地区 / L 地区で DTP 3 接種率は 95% / 87%、麻疹ワクチン接種率は 96% / 92%、3 回以上の妊婦訪問指導は 99% / 97%、妊婦 TT 接種率 97% / 89%、施設分娩 94% / 80%、安全な分娩 97% / 97%、などで NT 報告数は過去 3 年間ゼロであった（表あり）。チャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキムに関しても 02 - 04 年のデータをレビュー。NT 報告数はゼロ。DTP 3 接種率は 66 ~ 91%、麻疹ワクチン接種率 60 ~ 93%、施設分娩 39 ~ 91% などとなっていた（州別の詳細な一覧表あり）。
- (3) サーベイの方法：データレビューで NT ゼロのチャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキムを対象として WHO プロトコールに準じた方式採用。調査各地域における調査期間中の 1,000 出生当り NT 患者数 1 未満か否かで排除合格・不合格を判定。訪問調査の対象は 06 年 10 月 16 日 ~ 07 年 10 月 15 日出生児。対象世帯数は勤務時間中に担当者が訪問可能な数とした（訪問対象数、世帯当たり人口、出生男女比、1,000 出生当り新生児死亡率、NT 死亡などの詳細な州別一覧表あり）。調査用紙はこれまでインドの他の州で用いられているのと同じ WHO 様式とした。
- (4) サーベイ履行：調査者とそのスーパーバイザー、調査調整員の教育を調査前に実施。訪問チームは面接者と地域ガイドで構成。面接者は助産婦など地区保健担当者で多くは女性。結果のチェックをスーパーバイザーが行い、新生児死亡が NT によるものか否かを新生児死亡全例について経験を積んだ地域医療担当者（medical officer）が再チェックした。サーベイは 07 年 11 月 21 ~ 24 日実施。
- (5) 結果：調査期間中チャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキム 4 州全て NT はゼロであった。この 4 州に関して世帯数（11,206 ~ 15,150）、出生数（1,401 ~ 1,988）、1,000 出生当り新生児死亡率（4.3 ~ 22.6）、や面接した母親の数（380 ~ 600 名）、保健施設での分娩率（53.0 ~ 99.2%）、母親の TT2 接種率（80.7 ~ 91.7%）などの州別の詳細な一覧表あり。
- (6) 結語：チャンデーガル、ゴア、パンジャブ、シッキム 4 州における NT 排除が確認された。

世界のインフルエンザ。第 18 ~ 19 週。

世界全体として流行は低かった。北半球では散発ないし流行なし、南半球では数カ国で軽度の増加が見られた。流行国はブラジル（A 型と B 型）、チリ（AH1）、香港（AH1 と H3）、ニュージーランド（報告はあるがウイルスは分離されていない）。その他カナダ、チェコ、デンマーク、米合衆国など 12 カ国で散発例の報告あり。

愛知県感染症情報

2008年22週(2008年5月26日～2008年6月1日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	5	32	114	653	1,056	355	161	10	155	25	51	103	0	6	0	1	3	2
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	4	31	69	519	764	261	97	9	115	14	36	82	0	4	0	1	0	0
名古屋市	70	70	11	15	5	1	1	45	134	292	94	64	1	40	11	15	21		2			3	2
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1		6	83	36	15	6		9		3	2						
海部津島	津島	7	7	2	2	1		2	18	136	21	8	2	12			3		1				
尾張中部	師勝	4	4	1	1				15	13	4		1			1	2						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		4	20	42	18	15		7	2	1	10				1		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1	20	9	112	75	25	3	3	10	3	6	12					
	江南	6	6	1	2			5	3	30	60	30	6				10		1				
知多半島	半田	6	6	1	2	1			4	12	36	7	5	2	9	2	8	1					
	知多	7	7	2	2		3		9	19	60	19	14		8		2	3		1			
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1			4	55	19	17	5		14	1	2	9					
	衣浦東部	13	13	2	4	1		1	15	66	56	37	21		9	2	4	15					
	西尾	5	5	1	2	1			13	35	11	2		2		2	8						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1			2	42	52	33	8		7	1	1	5					
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1			7	15	61	16	2		11	3	5	1					
	豊川	9	8	1	2	1			4	19	83	8	2	1	7								
東三河北部	新城	2	2			1										1	1						

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

愛知県感染症情報

2008年22週(2008年5月26日～2008年6月1日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	4	31	69	519	764	261	97	9	115	14	36	82	0	4	0	1	0	0
～6ヶ月					6	6			3	2								
～12ヶ月	2		1	4	31	19	4		52		3							
0歳																		
1歳		2	15	23	85	50	13		55		10	4						
2歳		1	10	21	57	32	19	2	5	1	8	8						
3歳	1	4	15	65	92	71	23	1			3	15						
4歳		7	10	80	98	33	13	1			3	18						
5歳		1	10	95	69	28	12	1			5	8						
6歳		2	3	75	55	10	4	1			1	17						
7歳			2	51	44	3	3				1	4						
8歳		5	1	36	32	4	2			1	1	2						
9歳		1	1	10	30	3						2						
5歳～9歳																1		
10歳～14歳		3		36	50	2	3	2		2		2						
15歳～19歳				1	12					1	1	1						
20歳～	1		1	22	103		1	1		7		1						
20歳～29歳		1												1				
30歳～39歳		4												2				
40歳～49歳														1				
50歳～59歳																		
60歳～69歳																		
70歳～																		
70歳～79歳																		
80歳以上																		

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く